

品目	県名	作柄及び概況	販売における現状と今後の見通し
トルコギキョウ	熊本	4月向けの出荷量は昨年よりやや増加の見込み。産地によりややバラつきはあるが、下旬になるにつれて徐々に数量増加していく。品質は良好であり、ボリュームも乗ってくる。気温が高くなっているため薬剤散布や換気の徹底を呼びかけている。	<div data-bbox="890 431 991 480" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">現状</div> 生育が遅れている産地があるものの、静岡を中心に入荷量は安定。生産が増加している沖縄も上旬より増加。また、遅れていた台湾産が出荷のピークとなり潤沢な入荷となる。販売に関しては動きあったものの、前半は葬儀需要が少なく、厳しい展開となった。中旬以降は相場も回復し活発な動きとなった。
	沖縄	当初の計画よりは遅れめで推移しているが、3月の気温上昇にともない4月は順調な出荷が見込まれる。秀品、優品中心の出荷が見込まれる。	<div data-bbox="890 605 991 655" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">見通し</div> 大田花き 生育が遅れている熊本、長崎と本格出荷となる沖縄を中心に安定した入荷が見込まれる。販売面では冬春商材が終わり動きは見込まれるものの、出荷状況次第で相場の流れが変わってくる。 FAJ 熊本・栃木主体の入荷に。平年並みの数量を予定。
			東日本板橋花き 台湾産はほぼ終盤で、沖縄県・熊本県・高知県・静岡県・北関東が引き続き増加傾向の見通し。 世田谷花き 台湾産は上旬で終了するが、遅れていた熊本・沖縄産が増え潤沢。 東京フラワーポート 沖縄産の作付け増からかなりの増量が見込まれ、気温上昇品質に注意が必要。
バラ	群馬	晴れの日も多く、また日照時間も徐々に長くなってきているため、平年どおり出荷量は増加してくる。また、昨年から導入が進んだ細霧等の環境制御装置の効果もあり、前年よりも多い出荷量となる見込み。病害虫等の発生は特に見られない。	<div data-bbox="890 1233 991 1283" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">現状</div> 例年、3月になった瞬間に引き合いが強くなり単価も上昇するが、本年は引き合いが強まるのが3週目以降からとなり、上旬は非常に単価安の状況。輸入品バラ、バラ以外の洋花も潤沢感がある為、単価が伸び悩んでいるかと思われる。
			<div data-bbox="890 1407 991 1457" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">見通し</div> 大田花き 4月の2週目までは相場はある程度見込まれるが、ここ数年は通常期は買参人の購入マインドが低い為、2週目以降の低相場が予測される。入荷量も上旬は潤沢感あるが、中旬以降は減少が見込まれる。 FAJ 徐々に数量増加。ある程度まとまった数量での入荷を予想。関東近郊主体の入荷。 東日本板橋花き 暖地産地の他に山形県、新潟県等の東北物の入荷も徐々に始まり国内産は増加傾向。 世田谷花き 需要に伴い販売は苦戦しそうだ。供給量は潤沢に増える。 東京フラワーポート 各県増加が見込まれ潤沢な分中旬以降厳しい販売となる。